

ご 挨拶

常日頃ご指導を賜り心よりお礼申し上げます。さて、私こと竹内会長が3月31日をもって突然辞任されたことに伴い、後任の会長として選任されました。竹内前会長は、経験豊富で木材業界はもとより林野庁等にも名前が行き渡っており有名な方でしたが、私は経験が浅く力不足でありますので、皆様方のご指導ご協力により少しでもご期待に沿うよう専心努力する所存でございます。何分のご指導をお願い申し上げます。

会長就任に当たり、当面次の3点について考えていることを申し述べます。

第一点は、東日本大震災の被災者・被災地への救援・復旧・復興に向けた取組です。大災害発生後約1箇月になろうとしており、被災者への救援は継続して取り組まれることは当然ですが、今後は仮設住宅の建設等々復旧・復興の動きが加速して参ります。木材産業の一翼を担う当業界として林野庁や全木連等他の木材団体と連携をとりながら、出来ることはしっかり取り組んでいく必要があると考えております。この対応を一步間違うと「木材はだめだ」とか「木材業界は当てにならない」という声が出るおそれがありますし、木材産業ひいては我々業界の存在にも影響を与えかねません。私も事務局を叱咤しつつ各般の情報の把握に努めて参りますので、皆様のご協力をお願いします。

第二点目は、ツキ板及び天然木化粧合板の需要拡大です。PR活動は、各企業一人ひとりが日々継続的に取り組まれるべき課題ではありますが、その一方でイベントの開催も重要な手段であると考えています。本年6月7日(火)～9日(木) 静岡市で開催を予定している「第32回全国優良ツキ板展示大会」は今までの実施内容とは異なり、家具業界との連携を図り、家具展示大会と同時開催することとしておりますので、ツキ板及び天然木化粧合板のPRの場としては格好の舞台です。異業種と提携した取組は、木材団体からは大きな関心をもって注目されておりますので、ぜひ成功させなければなりません。皆様方の絶大なご協力をお願いする次第です。

第三点目は、我々業界の一体感の再構築です。我々業界は「売り方」と「買い方」が混在しております。運営の仕方も難しい面があることは充分承知しておりますが、先人が昭和47年4月に業界の結束を図り設立した組織は、幾多の困難を克服し来年で40年を迎えようとしています。40周年を契機として、設立の原点に立ち返って、取り組んで参りますので、ご理解とご協力をお願いします。

最後になりますが、皆様方の益々のご発展をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

平成23年4月1日

全国天然木化粧合板工業協同組合連合会
会長 松尾 和俊